

# 2020 年度 食生態食育プロモーターズ養成講座

－ 「3・1・2 弁当箱法」の活用事例として「SDGs」を考える－

NPO 法人食生態学実践フォーラムでは、「食にかかわる専門家」とそのネットワークづくりを願って、食育プロモーターズ(略称「食生態食育プロモーターズ」)養成の制度化を進めてまいりました。

今年度は、「3・1・2 弁当箱法」について学習するとともに、「3・1・2 弁当箱法」の学習素材として、コロナウイルス感染症の中でこそ重要な“一人残さずの人の健康を願う” SDGs を取り上げ、下記の通り養成講座を開催いたします。新たに食育弁当箱の仲間に加わったスリムな弁当箱の詰め方も、一緒に検討しあいたいと思っております。ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

## 記

1. 日 程 2021 年 2 月 27 日(土) 10:00～16:30

2. 場 所 日本女子大学 70 年館6階 調理大教室

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

アクセスマップ

[https://unv.jwu.ac.jp/content/files/grp/access/access\\_map\\_mejiro.pdf](https://unv.jwu.ac.jp/content/files/grp/access/access_map_mejiro.pdf)

3. 講 師 高増 雅子 日本女子大学家政学部家政経済学科教授

4. 内 容

- ① モデルメニューを事例に「3・1・2 弁当箱法」の再確認。
- ② 自分で詰めた弁当を食べて、チェック。
- ③ グループワーク：SDGs をメインテーマとして、食べる人の条件や準備する人の条件に対応した食事やメッセージを伝えるための献立を作成する。

取得単位: 「3・1・2 弁当箱法」の B コース基本編 2 単位、実践編 2 単位  
プロモーターズ取得者はブラッシュアップ講座

5. 参加費 参加費 会員 1,000 円、非会員 2,000 円

6. 申込〆切り 2月19日(金)

事務局まで、別紙の申込用紙にご記入のうえ、FAX 又は E-mail にてご連絡ください。  
食材の準備等の都合上、よろしく申し上げます。

7. 用意するもの 筆記用具、調理用エプロン・三角巾、上履き(スリッパはあります)

会場では、コロナ対策を行っておりますが、マスク等をご持参ください。

※教材として使用する弁当箱は、フォーラムで用意します。

事務局 NPO 法人 食生態学実践フォーラム

〒169-0075 新宿区高田馬場 4-16-10 コーポ小野 202

TEL・FAX: 03-5925-3780

E-mail: forum0314@angel.ocn.ne.jp

# 食生態食育プロモーターズとは

食生態学や関連の研究・実践の成果等の科学的根拠をふまえ、豊かな愛情で実践する食にかかわる専門家であり、そのネットワークづくりを進める仲間と考えています。

その実現のためには次のような力や展望が重要と考えています。

- “食”に関して、その人(々)や地域にとって、プライオリティの高い重要課題に敏感に対応し、質の高い解決の方法やネットワークをすすめることができる
- 食生態学や関連分野の研究・実践の成果等科学的根拠を理解し、適切に活用できる
- 学習者主体で参加型、たのしく進める効果的な学習スキルや実践スキル(教育的アプローチのスキル)と、これらを実現可能かつ、持続性の高い食環境づくり(環境的アプローチ)の実践スキルと、これらを統合的に活用できる
- 実践の企画、プロセス、結果等を的確に評価し、次の実践へ活用できる  
これらのプロセス、課題を関係者と共有し、協働のネットワークを形成できる

## 食生態食育プロモーターズ養成カリキュラム I

上記のような主旨のもと、共に仲間として活動していく食育プロモーターズについて、具体的に次のようなカリキュラムの養成講座を開催します。

### 1. コース(レベル): 食育プロモーターズのコースは次の3つのコースに分かれています

コース (レベル)	達成内容	講座の構成(履修単位数)	
		基本編	実践編
A	1)地域レベル、いわゆる政策論、食環境作りも含めた食育計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる 2)B・Cコースの人材を養成することができる	8	4
B	個人や集団の食のニーズに対応する食育計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる	6	2
C	自分や、身近な人の食のニーズに対応する食育計画・実施・評価ができる	4	1

※1 単位:90分

### 2. 講座のシステム

- 1) 食生態食育プロモーターズ養成カリキュラムは、「3:1:2」弁当箱法を実践ツールとしたカリキュラムです。
- 2) 講座の構成: 基本編と実践編(3:1:2 弁当箱法)からなります。
- 3) 受講のステップ: レベル C からの受講となります。
- 4) 履修: 上表は標準的なものです。これまでの活動や当フォーラム主催の研修会参加等は読みかえ又は加算が可能です。
- 5) 履修単位の登録: 随時開催する講座に参加し、習得した単位は登録をすることができます。
- 6) 各コースの承認: 所定の単位を修得した場合、認証の申請をすることができます。認証は別に定める委員会が所定の手続きで行います。

申し込み締め切り: 2月 19 日(金)

NPO 法人 食生態学実践フォーラム  
Fax: 03-5925-3780

NPO 法人 食生態学実践フォーラム・食生態食育プロモーターズ養成講座に出席します

正・賛助会員

学生会員

非会員

学生非会員

氏 名(フリガナ)

連絡先住所 〒

TEL

FAX

E-mail

中止等緊急時連絡先

参加に際し、ご要望ご意見がございましたら、お書きください